

総合運動公園建設 是か非か住民投票で示そう！

本当に縮小なのか

総合運動公園基本計画（案）によると建設費は約61億円削減されたとあります。しかし建設総額239億円、維持管理費年間2億8900万円には、以下のような費用が含まれていません。

1. 周辺道路の整備費用
2. 防犯設備やその人件費
3. 40年以上使用する間の大規模修繕費用
4. 目玉施設となるスポーツ

医学センター・障害者スポーツ学習室の運営費用

大規模修繕については、競技場トラックの補修やテニスコートの張り替え、天然芝の養生（陸上競技場・フットボール場）、観客席の補修など億単位の費用が見込まれます。医学センターや障害者スポーツ学習室に至っては、運営費用について全く計上されていません。

施設は作って終わりではなく、維持管理運営が重要です。今回の基本計画（案）の事業

費には、含まれない費用が様々ある上、財源の説明や財政計画も全く示されていません。将来の市政運営に大きな影響が出るのではと懸念されます。

陸上競技場は後回しに

さらに、2019年の国体開催に合わせて、総合体育館建設が最優先になりました。この計画が浮上した当初、大きな理由としていた小中学生の公式記録が取れる陸上競技場は、後回しになった訳です。計画通りに進んでも競技場の完成は7年後。また、基本構想の説明にあった、東京オリンピックやラグビーW杯での活用の見込みもすっかり薄らいでいます。

なぜ、巨大な総合運動公園が必要なのでしょう。子高齢化が進む今、すべきことは各施設の老朽化対策であり、巨大な箱もの建設の見直しです。

現在、基本計画（案）のパブリックコメントが行われています。市政始まって以来の多額の税金を費やす大事業、一人でも多くの市民が意見を述べる時です。

住民投票で民意を示そう

市民が意見を表明する手段は、パブリックコメントだけではありません。昨年12月市長へ提出した建設反対の署名は、5400筆にのぼり、反対や不安の声が相次いでいます。しかし建設が停まる気

配はありません。

そこで、市民有志が住民投票を目指す市民の会準備会を立ち上げ、建設の是非を住民投票で示したいと準備を進めています。準備会は、以下の4点を問題としています。

1. 建設目的に挙げている国内外の大会開催や、施設活用のイベント誘致などの根拠が全くない。
2. 用地取得手続きの不備、不明瞭な点を明らかにする必要がある。
3. 莫大な事業費の将来負担によって、福祉・教育・環境などの本来必要な事業を充分行えなくなるのではないか。
4. 今後人件費・資材高騰などで事業費の増大が予測され、財政計画が示され



パブリックコメントの詳細はつくば市ホームページをご覧ください

POST CARD

305-8790

つくば市千現1-18-5-101

つくば・市民ネットワーク行

料金受取人払郵便



差出有効期間
平成28年11月
12日まで

郵便切手はいりません

●住民投票を求める署名活動にご協力いただける方はご連絡ください（FAX、メールでも結構です）

ご意見等ありましたらお書きください

〒
ご住所

お電話

お名前

住民投票を求める署名活動
スタート集会
2015年 1月31日(土)
小野川交流センター
13:30~15:30
参加費 無料

お詫び：12月17日発行の議会速報「百合ヶ丘学園、紫峰学園との統合検討?!」の記事に市内小中一貫校を例に取り上げ掲載しましたが、表現に誤りがありました。関係各位に多大なるご迷惑をおかけいたしました点を深くお詫び申し上げます。

巨額で過大な総合運動公園のその後

まだまだ出てくる、疑惑の数々！

総合運動公園の土地取得の経緯

H25年

- 9/24 9月議会中にURから土地の申し出
10/28 市・UR間で協議書を取り交わした
土地価格は不動産鑑定評価額との記述あり
12/20 不動産鑑定委託料の参考見積書
¥498,960(¥462,000+消費税8%?)

H26年

- 1/9 不動産鑑定業務 委託
企画課、道路課 各1社ずつ委託
1/22 土地取得の予算起案
単価¥14,500/m²で算出
1/27 道路課委託鑑定実施 ¥16,800/m²
1/29 企画課委託鑑定実施 ¥9,130/m²
こちらは3月議会に報告されず
2/10 単価を¥14,500/m²と決定
2/12 議会で基本構想と土地取得の説明
3/1~25 パブリックコメント(市民意見募集)
3/6 3月議会「固定資産評価額¥18,200/m²」
「不動産鑑定を元にURと交渉」と答弁
3/18 3月議会 土地取得議案 14対13で可決
¥14,500/m² 総額66億円
3/31 土地取得 契約締結
つくば市土地開発公社が土地取得

土地取得に異議あり！

※住民監査請求を提出!!

昨年12月25日、有志市民7名と市議7名(市民ネット議員3名、共産党議員3名、塩田議員)でつくば市に対し、総合運動公園用地取得に関して2件の住民監査請求を監査委員に提出し受理された。

監査請求 1件目

土地取得にあたり単価14,500円/m²は不動産鑑定の結果報告前に起案されており、2つの不動産鑑定は使用されなかった可能性が大きい。従って、使用しない不動産鑑定業務委託を決議した市職員2名に対し、各々業務委託料約50万円の返還を求める。

監査請求 2件目

総合運動公園予定地の実勢を正確に評価した9,130円/m²ではなく、高い方の16,800円/m²を採用したのは、地方自治法第2条14「地方公共団体はその事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」に反し、市に約20億円の損害を与える。

今後は、60日以内に市長へ勧告が行われるか否か監査が行われる。



昨年の3月議会、14対13の僅差で土地取得が決まってしまうた総合運動公園。6月議会以降、拙速な進め方や土地取得の疑問について、市民ネットの3議員で手分けし毎回質問してきた。特に約66億円の土地取得に至る経過について追及し、次々に新たな疑惑が浮上してきた。

二転三転する説明と次々出てくる矛盾。特に、土地取得を決めた3月議会でも重大な答弁錯誤があったことも発覚し、これまでの説明への信頼性は大きく揺らいでいる。

多くの疑問があるこの計画を、このまま進めるわけには行かない。しかるべき法的手段もとりつつ、真相究明していきます。

【疑惑1】土地の価格を高めに誘導？

- ① 土地取得を議決するH26年3月議会では、不動産鑑定評価額¥16,800/m²と説明したが、その後、6月議会でもう一つの鑑定結果¥9,130/m²があったと判明。
安い鑑定結果を隠ぺい？
- ② 高い方の鑑定結果(¥16,800/m²)を出した業者は、市から示された前提条件「現況山林であるが、抜根伐採等の工事を行い、宅地となった状態として正常価格の鑑定評価を行う」に従って鑑定した。
現況(山林)より高い宅地として鑑定させ、実際より高い評価額を誘導？
- ③ 土地取得を議決する3月議会で、用地の「課税標準いわゆる評価額は¥18,200/m²」と答弁。しかし、実際の固定資産評価額は約¥14,000/m²。
この誤った答弁により購入単価¥14,500/m²を割安だと思わせた？

【疑惑2】土地の値段は鑑定より前に決まっていた？

- ④ 鑑定報告書に記載された鑑定実施日(1月27日)より前の1月22日に¥14,500/m²で土地取得する補正予算を起案。これを追及すると、「事前に数字は承知していた」と答弁。
事前に鑑定額を指示？ それとも、鑑定報告書の鑑定実施日が偽り？(どちらにしても、法に抵触する恐れあり。)
- ⑤ 3月議会では、「不動産鑑定(1月末)を元にURと価格交渉した」と説明したが、URとの交渉記録によれば、H25年9~10月時点で、土地価格についてURは「価格は固定資産評価額(約¥14,000/m²)を下回らない」と何度も言及。価格の交渉はH25年9月には、すでに始まっていた。
単価¥14,500/m²の交渉は早い段階で始まっていたのに、議会では交渉記録と食い違う答弁をした。

【疑惑3】法に触れる恐れのある行為が次々発覚！

- ⑥ 担当の企画課から2つの不動産鑑定を発注すべきところ、別の課の予算で片方の不動産鑑定を発注し、その結果を採用した。
目的外支出であり、地方自治法に抵触するのでは？
- ⑦ 不動産鑑定業者が作成した委託料の参考見積書をH26年9月に情報公開請求したところ、H25年12月の日付なのに消費税率8%となっていた。
当時の消費税率は5%。「なぜ8%になっているのか」との問いに明快な答弁は無かった。情報公開請求されて、後から作ったのだろうか…？



つくば市議会議員
総務常任委員会副委員長

北口ひとみ

一般質問項目

1. 紫峰学園と百合ヶ丘学園の統合について
2. 竹園地区再開発について
3. 総合運動公園の土地取得について

竹園ショッピングセンター再開発、丁寧な説明と話し合いの場を!

竹園ショッピングセンター(以下SC)は建設から約40年が経過し、2階部分へのアクセスやフードストアの長期にわたる不在など、施設の老朽化をはじめとする様々な課題が生じています。

一方、周辺公務員宿舎の大量廃止・売却に伴い、新たにマンションや戸建て住宅が建築中で、今後竹園SCの利用は増えると見込まれています。

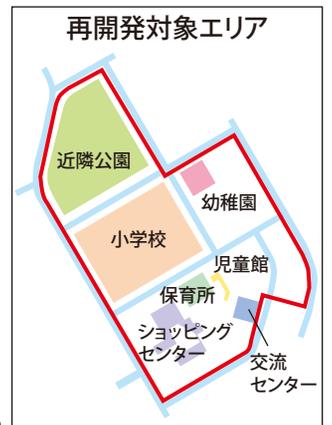
そうした中、市は「良好な地域拠点の創出」を目的として、国土交通省の補助事業を活用し、竹園SC含む周辺約8.5haの再開発調査を業者へ委託しました。

竹園SC内の店舗や周辺住民の方から、何が始まり、どのようにしていくのか問い合わせが届き、確認しました。

対象となる範囲は竹園交流センター・保育所・幼稚園・小学校・児童館・近隣公園などこれまでにない多くの公共施設や教育施設を含んでおり、影響は近隣住人だけでなく教育施設関係者にも広く及びます。

開発方法としては、今ある機能を維持しながら、新しく施設を建てたところへ次々と移動する「玉突き型再開発」が検討されているとのことで、今後は4つの地権者(市・UR・筑波技術大学・筑波都市整備(株))による協議会が設置されるようです。

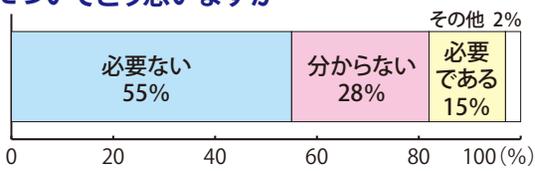
地域住民をはじめとする利用者も含め目的共有できるように、説明会や意見交換の場を設けてほしいと要望しました。



土浦市との合併勉強会 議事録を公表し、メリット・デメリットの検証を!

土浦市と、合併についての勉強会が2月から行われているが、議題と資料は公表されているものの、勉強会は非公開で、議事録も公開されていない。そんな中10~11月に、合併に対する市民意識アンケートが実施された。

合併についてどう思いますか



※つくば市実施のアンケート結果より抜粋。つくば市内8地区の20歳以上の5000人を無作為抽出。2237人(44.7%)が回答。

質問には、合併に期待できる効果や心配される理由を尋ねる項目もあった。しかし、市民は議論の詳細が分からず、判断材料が少ない中で答えるしかなかったと思われる。市民に尋ねる前に、合併した場合のメリット・デメリットについて、勉強会でどう検討しているか、議事録を公開すべきではないかと質問した。

担当部長は「勉強会は事務局レベルでの検討であり、両市で協議の上非公開としている。勉強会の経過はホームページで公表している。」と答弁。しかし、10月に開

催された第5回勉強会で、市民生活に大きくかかわる住民サービス料金の比較、公共施設や都市基盤の整備状況、財政状況、行政体制が検討項目になっているにもかかわらず、その資料は公表されていない。

合併について市民に意見を求めるなら、まず考えるための情報を示すのが先ではないか。市民が知りたいのは、まさに合併したら市民生活がどうなるかということ。行政が作成したアンケートの選択肢には、合併を心配する理由として「中心部のみが発展し、周辺部が衰退する」「公共施設の統廃合が進み、不便になる」「市独自の歴史・文化など特徴が失われる」等を挙げている。一方、合併で期待できる効果では「消防、救急、防災への対応力が強化」「広域的な道路整備、産業振興、まちの活性化が期待できる」などを挙げている。これらはあくまでも行政が準備した選択肢であり、それらが実際にどうなるのか、勉強会で客観的に分析し、市民に示すべきではないか。

今年度末には勉強会の最終報告を行うことになっている。今後、十分な検討と公表が行われるか、引き続きしっかり注目していかなければならない。



つくば市議会議員
文教福祉常任委員会副委員長

宇野 信子

一般質問項目

1. 土浦市との合併について
2. 中根・金田台地区歴史緑空間の土地取得に関する不動産鑑定について
3. 総合運動公園用地取得の不動産鑑定について



つくば市議会議員
環境経済常任委員

皆川ゆきえ

一般質問項目

1. ICT教育について
2. 子ども子育て支援新制度
3. 高齢者医療福祉対策について
4. 総合運動公園基本計画について

地域包括支援センターを増設し、高齢者事業の拡充を!

今後急増することが予測される高齢者人口、その高齢者対策として介護予防や地域在宅医療を拡充していくことがより重要になってきています。

今年度つくば市は、高齢者ボランティアポイント制度、シルバーリハビリ体操、成年後見制度の活用支援などを開始し、介護予防の取り組みを強化しています。

その他にも既に様々な事業を行っていますが、市民からの相談へのきめ細やかな対応や、関係者間の情報共有のためには、地域包括支援センターの役割が非常に重要です。現在、地域包括支援センターは市役所に1ヶ所設置されています。その他、各地区で民間の老人ホーム等に「在宅介護支援センター」を委託し、対応にあたっていますが、その施設を利用していない人にとってまだまだ身近な存在とは言えません。

地域や医療、民間事業者が一体感を持って福祉を担うために、各地区にある地域交流センターなどへ地域包括支援センターの設置を求めています。

ICT教育の目的とは?

つくば市は“教育日本一”を掲げ、その柱の一つとしてICT教育を進めています。

しかし、「ICT教育の目的がよくわからない」という声が保護者から届いています。ゲームやネット依存症、脳への悪影響、ネット上でのいじめ問題なども深刻になっており、家庭だけでなく学校でもICT機器に触れる時間が増えることへの疑問の声もあります。

ICT機器の多用により自ら考えることや、五感を使う機会が減るのではと危惧します。自然に触れたり、先生や友達との体験共有、音楽や演劇などの芸術体験等、感じることは子ども時代にとても大切な教育です。

ICT機器の使用に過度に傾くことなく、課題やメリット、使用方法などを保護者と十分共有した上で慎重に進めて頂きたいと考えます。



2015年1月25日 Vol.41

市民ネットではテーマごとの部会を作り活動しています

子ども部会カフェ開催中

毎回10人前後で楽しくおしゃべりしています。子ども連れでも、どなたでも参加できます。
関心のある方は市民ネット事務所までご連絡ください。



次回 2月5日(木) 10時~
小野川交流センター

- ・子育てのこと
- ・小中一貫教育やICT教育
- ・学校給食センター見学
- ・柔軟剤などの化学物質の影響
- ・遺伝子組み換え食品はどこまで広がってる?
- ・放課後子ども教室ってどうなってるの?
- ・電磁波学習会開催
- ・放射能対策

秋の主な活動報告

10/11	楽楽大学「住み慣れた地域で老後を暮らすには」参加
10/18	市政地区別懇談会(吾妻中)参加
10/20, 11/18	議会活性化推進特別委員会(宇野)
10/24	慰安婦問題学習会参加
10/27~28	議員研修会 「人口減少時代と自治体の子育て・高齢者・くらし」参加
10/29	電磁波問題学習会開催
11/4~5	道路交通体系及びTX沿線整備調査特別委員会視察(北口)
11/6, 9, 10	議員と話そう会開催
11/8~9	つくば環境フェスティバル2014出展(ダノ・ノボ・ポスト)
11/8	里山資本主義フォーラム(瀬谷浩介氏講演会)参加
11/11~12	安全安心調査特別委員会視察(宇野)
11/13~14	観光開発推進特別委員会視察(皆川)
11/15	つくば市民おひさま発電所講演会参加
11/16	化学物質セミナー 「赤ちゃんの胎内環境とその後の発達への影響」参加
11/19	障害者権利条約タウンミーティング参加
11/25~12/16	12月定例市議会
11/26, 28, 29	A2-B-C上映会共催
11/28	「ネットいじめ・ネットトラブル」最新事例とその対処法」参加
12/20	大豆畑トラストつくば収穫祭
12/27	街頭議会報告

※総合運動公園を考える市民の会、放射能汚染から子どもを守る会@つくば、脱原発ネットワーク茨城、高齢者の暮らしを考える会へも参加しています。
※テーマごとの部会活動の他、委員会・審議会等へも多数参加・傍聴しています(詳細はHPをご覧ください)。

傍聴記

久々の議会傍聴だった。本当に久しぶり。
今日はいろいろあるらしく、なかなか議会は始まらない。やっと開始を知らせる館内放送が流れたのは開始予定時間を1時間も過ぎてから。
今回は「手話言語法(仮称)制定を求める意見書の提出を求める請願」が提出され、この関連で傍聴席には手話で話す人たちもみられた。
各委員会の報告をする議員たち。ヤジもなく静かな議会だった、15時までは。その後も議会は続いた様子。議長選挙や、四つの常任委員会のメンバーの入れ替えなどがあり、新しい委員長、副委員長を決めるたびにその挨拶がおこなわれ、議会全体が終わったのは20時と、後で聞いた。
久しぶりの議会傍聴のおかげで、三姉妹議員の『凄さ』(説得力や声の大きさ、滑舌のよさ)を感じた。こればかりは傍聴しないとわからない。
次は行ってみよう!議会傍聴!!(H)



議会基本条例を全会一致で可決!

市民にわかりやすく身近な議会にしたいと準備を進めてきた議会基本条例。9~10月に素案を公表してパブリックコメントと条例案説明会を実施し、届いた意見を基にさらに検討を行いました。そして最終案を12月議会最終日に提案。質疑、反対討論はなく、全会一致で可決、制定されました。

条例には、市民ネットがずっと目指してきた、各議員の賛否の公表や、議会報告会の開催、行政への説明要求、議会・議員の活動のあり方などが盛り込まれています。今後は具体的な実施についての要項等を定めていきます。

この条例を駆使して、本当に市民の役に立つ議会を作り上げるために、引き続き頑張っていきます。市民の皆さんも、ぜひ議会傍聴や、議会報告会など積極的にご参加ください。



議員と話そう!会

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の北口、宇野、皆川を交え、様々な情報と意見交換を行います。ご都合の良い日程に、お気軽にご参加ください。

荃崎 交流センター
2月3日(火) 10時~12時

竹園 交流センター
2月6日(金) 10時~12時

2014年12月議会議決結果

※ヘイズ・ジョン議員(つくば政清会)は12/4辞職願が可決され、辞職しました。
※12月議会最終日に議長・副議長改選となり、議長:塩田尚議員、副議長:塚本洋二議員が選出されました。

議決の結果 (○:賛成、×:反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	つくば市民政策研究会	つくば自由民主党	つくば政清会	公明党	日本共産党	山中八策の会	筑峰クラブ	民主党	つくば維新の会	新社会党
消費税増税に反対する意見書を国へ提出するよう求める請願	不採択	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	
二の宮地区内の白畑公園のスケートパーク撤去をやめるよう求める請願	不採択	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	
議員提案:従軍慰安婦問題について「強制連行」の検証を国へ求める意見書案	否決	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 (議員数27 議長:金子)		*北口 宇野 皆川	*古山 須藤、柳沢、高野、飯岡、松岡	*五頭 久保谷 神谷 小久保	*塚本 大久保 木村修	*小野 浜中 山本	*滝口 田中 橋本	*塩田	*鈴木	*木村清	*黒田	*金子 (議長)